

くにたち

## プラムジャム通信 vol.5

■CoverStory すてつき

■数のくにたち

■住民ディレクター講座開催 / ごぜん塾報告

■イベント情報 / ふじみなヒト×コト



Cover Story

## 住み慣れたこのまちで 誰もが自分らしく豊かに

NPO 法人アビリティクラブたすけあい くにたち すてつき

地域で安心して住み続けられるように、20年前に活動をスタート

9月の敬老の日を前に総務省が発表した人口推移によると、2014年の65歳以上の高齢者は前年に比べ111万人増の3,296万人。総人口に占める割合は0.9ポイント増の25.9%で、人数、割合とも過去最高を更新した。実に4人に1人が65歳以上の高齢者という今日、福祉サービスの充実、言うまでもなく地域社会に求められる大きなテーマである。

そうした中、「住民同士の支え合い」を掲げ、20年前から在宅福祉サービス事業を続けているのが、「NPO 法人アビリティクラブたすけあい くにたち すてつき」（以下、すてつき）だ。NPO 法人アビリティクラブたすけあい（通称ACT-アクト）とは、1992年に誕生した会員制の組織で、現在、会員約6,700名、都内に35のたすけあいワーカーズがある。すてつきは、その14番目のたすけあいワーカーズとして1994年に誕生した。都内でも先駆けとなる存在で、理事長の島崎エミ子さんは「住み慣れたこの国で老いても障がいをもって、誰もが自分らしく豊かに暮らしていけるまちをめざし、地域の中で誰もが担い手にも利用者にもなる身近な福祉ネットワークを」とその活動理念を語る。



左から 国井定子さん（副理事長）、松本真由美さん（理事／サービス提供者）島崎エミ子さん（理事長）、森久保京子さん



当初は有志16名が集まって四畳半からのスタート。名前の“すてつき”には「ころばぬ先の杖」という意味を込めた。「最初は車いすですり道の道路を点検して回ったり、住民の聞き取り調査を行いました。住民の困りごとを集めた結果、やはり市内に在宅福祉サービスが不足していることがわかりました」と振り返るのは、前理事長の松本真由美さん。当時は社会福祉協議会の「安心サービス」が60歳以上の一人暮らしなど対象条件がまだ限定されていた頃で、産前産後サポートが充実していなかった。そこで、幼児の送迎や掃除、沐浴などの産前産後の子育てサービスを中心に提供した。主婦の経験を活かした“手づくり”のサービスが特長だった。

その後、2000年の介護保険制度スタートを機にヘルパー資格を取得し、「基準該当事業所」として市の認可を受け、介護保険サービスや障がい者支援サービス、市委託サービス（ひとり親支援、移動支援など）を提供するようになった。2001年にはNPO法人格取得。行政サービスの一翼を担う



ことで事業も安定してきた。  
（3面につづく）

9月に開催された「20周年記念集会」には、佐藤市長もお祝いに駆けつけた。

国立市の中間支援組織「くにたち地域コラボ」が運営および拠点とするコミュニティスペースです。国立市の花である梅（プラム）、ジャムセッション（即興演奏）のジャムが由来で、利用者同士がこの場で出会い、コラボレーションし、新しい活動や展開へとつながることをめざしています。



次号は2015年  
2月発行予定  
☆



## 連続講座 //

主催：くにたち地域コラボ 後援：国立市

# めざせ！あなたも住民ディレクター 『番組づくりは地域づくり』

参加  
無料

スマホや携帯のカメラ、ビデオを使って、番組づくりを体験しませんか？  
地域活動にも役立つ企画力、広報力をアップ！



「住民ディレクター」とは、地域づくりのディレクターのことです。  
この講座では、番組づくりを通して総合的な企画力を身につけることをめざします。

スマホや携帯のカメラやビデオ機能を使って、自分が住む地域を見つめ直し、番組づくりを通じて仲間と交流し、地域づくりの実践にトライ。  
こうした住民ディレクターの活動は、コミュニティづくりの新しい道具として全国で始まっています。全3回の講座で住民ディレクターを体験します。

### 【第1回】 住民ディレクターとは？

①事例紹介 ②ミニ体験

日時 11月16日(日) 13~16時

場所：富士見台第一団地集会所（たまご広場北側）

定員：各回 15人（1回のみ参加もご相談ください）

講師：高橋明子さん

### 【第2回】 企画をつくろう！

①番組づくり練習

（グループトーク、テーマ例：国立の魅力 / 等）

②自分の企画づくり

日時 11月24日(祝・月) 13時~17時

杉並 TV 代表 / (社) 八百万人事務局長 / 総務省地域情報化アドバイザー

### 【第3回】 番組収録体験

日時 12月6日(土) 10~15時

企画会議・番組収録準備



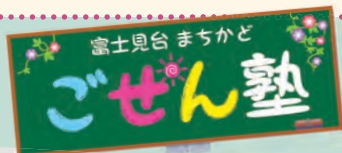
（講師プロフィール）三和総合研究所主任研究員を経て独立。地域情報化のコンサルタントとしての経験を活かし、地域づくり人材の養成を「住民ディレクター」という番組制作活動を通じて実践中。自身も住民ディレクターとして、地元杉並で子育てしながら活動（杉並 TV）、同時に住民ディレクターの全国ネットワーク、八百万人を運営中。総務省地域力創造アドバイザー、総務省地域情報化アドバイザー。

【要申込み・問い合わせ】

くにたち地域コラボ

☎ 042-573-1023 ✉ info@kunitachicollab.com

平日 13時~17時（水曜除く）



## 富士見台まちかど「ごぜん塾」 開催中！

楽しく  
ワイワイ！



市内で活動する方々を講師に迎え、「心も体もフレッシュな“午前中”に楽しく学び、交流する場を」と、9月よりスタートした富士見台まちかど『ごぜん塾』。

iPad 講座あり、デッサン教室あり、ネイティブ英会話にハンドエステ、ウクレレ、PC・スマホ・タブレットお困りごと相談、音楽から学ぶ英会話レッスンなど、多彩な講座がプラムジャムで行われています。開講以来、講座の延べ参加者人数は126名（10/25 現在）。参加者同士の交流も生まれ、地域の拠点として、プラムジャムもますます賑やかになってきました。今後もより多くの市民の方に参加いただけるよう、さまざまな講座を企画中です。どうぞ、ご期待ください！

\*今後の講座については、P4をご覧ください。

